

実質化された人・農地プラン（常澄地区）

市町村名	対象地区（集落）名	作成年月	直近の更新年月日
水戸市	常澄 （下大野，大場，稲荷第一，稲荷第二）	平成24年 8 月	令和5年5月1日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積(ha)	1558.8
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者または耕作者の耕作面積の合計(ha)	1080.1
※ 回答率(②/①)	69.3%
③ ①のうち地区内における75歳以上の農業者の耕作面積の合計(ha)	340.3
i ②のうち後継者のいない農業者の耕作面積の合計(ha)	60.2
ii ②のうち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計(ha)	25.1
⑤小計(i + ii)	85.3
④ ②のうち地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計(ha)	423.6
⑥地区内で後継者がいないか不明の推計面積(ha)(⑤/回答率)	123.1
⑦中心経営体による、地区内の後継者がいないか不明の推計面積カバー率(④/⑥)	344.1%

2 対象地区の課題

<p>常澄（プラン全域）については、5年後も十分に担い手が確保された状態にあると推測される。</p> <p>今後、農地の担い手への集積・集約にあたって、耕作条件の改善を図ることが必要とされる地区については、基盤整備事業の活用に向けた機運醸成を図る必要がある。</p>

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

地区（集落）名	稲荷第一
<p>原則として中心経営体である認定農業者及び集落営農組織が中心となった農地利用を図り、今後のさらなる農地集積の促進及び担い手の営農効率化のため、基盤整備事業の活用に向けた地域の機運醸成を図る。</p>	
地区（集落）名	稲荷第二
<p>中心経営体である認定農業者及び集落営農組織が中心となった農地利用を図り、必要に応じて入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受入れを促進する。</p>	
地区（集落）名	大場
<p>原則として中心経営体である認定農業者及び集落営農組織が中心となった農地利用を図り、昭和30年代の基盤整備以降、経年により耕作条件の悪化したエリアについて、今後の農地集積の促進及び担い手の営農効率化のため、再整備に向けた地域の機運醸成を図る。</p>	
地区（集落）名	下大野
<p>中心経営体である認定農業者及び集落営農組織が中心となった農地利用を図り、必要に応じて入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受入れを促進する。また、土地改良事業区域については、今後の集積に向け、関係機関を交えた地域の協議を推進する。</p>	

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針

<p>今後、市、農業委員会等関係機関との連携のもと、地域において話合いの中心となる農業者の状況などの把握に努め、土地改良事業実施地区、農業多面的機能の農地維持活動地区、農地中間管理事業モデル地区などのエリアを中心に、各地区の状況に応じた関係者の参画により、農地の集積及び集約に係るより具体的な話合いを推進する。</p>
<p>市、農業委員会、中間管理機構等関係機関が連携し、貸し付け意向のある農地が中心経営体へ円滑に配分されるよう、貸し付け意向の情報共有等の体制整備を検討する。</p>